

立命館アカデミックセンター

CR
academic center of
RITSUMEIKAN

おとなの 学び舎

COURSE GUIDE 2018 AUTUMN

2018
秋号
総合案内



立命館アカデミックセンター※は、こどもから社会人までを対象に、
これまでの教育機関の枠にとらわれない

立命館ならではの「学び場」を提供しています。

その中でも「おとなの学び舎」は、さまざまな学びを

深く楽しく体験したい皆様のための開かれた講座です。

2018年度は、3ヵ月を1期として4期で開講します。

秋期は立命館大阪梅田キャンパスで9講座を募集いたします。

知的興奮に満ちた新学期が、

あなたのお越しをお待ちしています。

※ACR:academic center of RITSUMEIKAN



■ 秋期 全3回

ご友人紹介キャンペーン 対象講座 ▶P4

01 戦跡の戦後史—「継承という断絶」を生ま出す社会—

講師 福間 良明 立命館大学 産業社会学部教授

受講料

1回 1,700円
【割引】ネット一括申し込み*
4,500円

原爆ドームは世界記憶遺産に登録されていますが、戦後長く、撤去を求める動きも少なくありませんでした。これに限らず、戦跡は戦後の社会変化のなかで、「記憶すべき何か」として発見され、創られてきました。本講義では、戦跡の戦後史を見渡しながら、「継承」や「断絶」が生まみ出される社会について考えます。

【講師略歴】1969年熊本市生まれ。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士(人間・環境学)。専門はメディア史・歴史社会学。主著に『戦争体験の戦後史』(中公新書、2009年)、『戦跡の戦後史』(岩波現代全書、2015年)、『働く青年』と教養の戦後史』(筑摩選書、2017年、サントリー学芸賞受賞)など。



実施時間 各回14:00~15:40 ※質疑応答あり

- 第1回 10月3日(水) 広島一被爆遺構の「聖地」化—
- 第2回 11月7日(水) 沖縄一摩文仁の「誕生」—
- 第3回 12月5日(水) 知覧—「特攻の町」と記憶の逆輸入—

■ 春期1回 夏期・秋期・冬期各3回/全10回

ご友人紹介キャンペーン 対象講座 ▶P4

02 一気通貫! 日本史講座 —「学校日本史」はどのように教えられて来たか—

講師 高杉 巴彦 池坊短期大学学長/立命館大学国際平和ミュージアム元館長

受講料

1回 1,700円
【割引】ネット一括申し込み*
4,500円

過去(昭和)と現在(平成)の歴史教科書の対比から、歴史学研究的進展を学ぶとともに、歴史認識の到達点に対応した記述の変化と、なおかつずれている教科書事例がなぜなのかを考える。現在の生徒たちがどう学んでいるかを知って、若者の歴史認識の現状がどのような状態にあるかを考える。

【講師略歴】1946年中国生まれ。立命館大学大学院文学研究科修了。立命館大学豊祥高等学校校長、学校法人立命館常務理事、立命館アジア太平洋大学副学長、立命館大学国際平和ミュージアム館長、北星学園大学文学部教授などを経て、2018年1月から池坊短期大学学長、現在に至る。専門は日本近代史、教育史、教育行政論。

本講座は「おとなの学び舎 2018春・夏」の続編です。今回初めての方も申し込みできます。

実施時間 各回14:00~15:40 ※質疑応答あり

- 第5回 10月5日(金) 「元寇」で「神風」は吹いたのか
- 第6回 11月2日(金) 「鎖国」は鎖国でなかった?
- 第7回 12月7日(金) 「太平洋戦争」の始まりと終わりはいつか

冬期

- 第8回 1月11日(金) 「極東裁判」は正当だったのか
- 第9回 2月 8日(金) 教科書はどのように決まるのか
- 第10回 3月 8日(金) 若者は歴史をどう見ているのか

第8回~第10回概要・申込は冬期総合案内に掲載します。



※3回分をインターネットで一括申込される場合の割引価格です。

03

ムスリムの食文化—東南アジアを中心に—

講師 阿良田 麻里子 立命館大学 食マネジメント学部教授

受講料

1回 1,700円
 [割引] ネット一括申し込み*
 4,500円

イスラームというアラブ世界をイメージする人が多いでしょうが、日本を訪れるムスリムの多くは、東南アジアから来ています。ムスリムの食の多様性と広がり、食のハラール(イスラーム法に則ったもの)の概要とともに、世界一のムスリム人口を擁するインドネシアで人々がどのような食の実践をしているのかについて扱います。

[講師略歴] 総合研究大学院大学博士後期課程修了。博士(文学)。専門は食文化研究、インドネシア研究、文化人類学、言語学。主な著作に『世界の食文化6 インドネシア』(農文協)、『食のハラール入門 今日からできるムスリム対応』(講談社)、編著として『文化を食べる 文化を飲む グローカル化する世界の食とビジネス』(ドメス出版)など。

実施時間 各回14:00~15:40 ※質疑応答あり

- 第1回 10月11日(木) ムスリムの食の多様性
- 第2回 11月8日(木) 認証ありきでないハラールとは
- 第3回 12月13日(木) インドネシアのムスリムの食文化



04

浮世絵から読み解く「忠臣蔵」

講師 赤間 亮 立命館大学 文学部教授

受講料

1回 1,700円
 [割引] ネット一括申し込み*
 4,500円

元禄15年12月に起きた赤穂事件は、浄瑠璃「仮名手本忠臣蔵」が決定版の戯曲として成立して以降、「忠臣蔵」事件ともよばれました。「忠臣蔵」は、最もよく知られた演劇作品となり、いわば忠臣蔵文化を生み出しました。今回、忠臣蔵を題材にしたたくさんの方の浮世絵を鑑賞してもらいながら、「忠臣蔵」秘話をお話してみます。

[講師略歴] 立命館大学文学部教授、アート・リサーチセンター副センター長。専門は、日本文化史と文化資源情報学。日本の文学、演劇、浮世絵を文化資源と位置付け、その魅力を発見しながら情報発信するための手法を研究している。著編書に『江戸の演劇書』『日本文化研究とイメージデータベース』『文化情報学ガイドブック』など。

実施時間 各回14:00~15:40 ※質疑応答あり

- 第1回 10月12日(金) 歌舞伎「忠臣蔵」誕生
- 第2回 11月30日(金) 浮世絵の中の忠臣蔵
- 第3回 12月14日(金) もう一つの討入り



05

現代日本の抱える「闇」を解き明かす—知られざる歴史的事件から—

講師 山崎 有恒 立命館大学 文学部教授

受講料

1回 1,700円
 [割引] ネット一括申し込み*
 4,500円

現代の日本には様々な「闇」が満ち溢れています。疲れ果てている大人たち、ぎすぎすした人間関係、悲惨な事件を繰り返す子どもたち…どうしてこうも息苦しい社会になってしまったのでしょうか。この講義では、知られざる歴史的事件を題材に、現代社会に広がる「闇」の正体を解き明かしていきます。「歴史」を紐解くことで「今」を深く知り、未来を考える～「温故知新」の学びである歴史学の真髄をお届けしたいと思います。

[講師略歴] 1964年東京都生まれ。東京大学、同大学院に学び、1994年博士課程を単位取得満期退学。同年より東京大学助手。1995年より立命館大学文学部専任講師として着任し、現在に至る。専門は日本近代政治史、特に公議論、治水史、競馬史などを得意とする。歴史学が有用な学問であることを世の中に伝えるのをライフワークとし、テレビ出演や講演会など多数。趣味は旅行、料理、猫と遊ぶことなど。

実施時間 各回14:00~15:40 ※質疑応答あり

- 第1回 10月17日(水) マリア・ルーズ号事件～なぜ日本は世界で孤立してしまっているのか?
- 第2回 11月21日(水) 教科書疑獄事件～ゆとり教育に再トライすべきだと考える理由
- 第3回 12月19日(水) 司法官弄花事件～なぜ日本の司法権は弱いのか?

冬期

- 第4回 1月16日(水) 万歳事件
 - 第5回 2月20日(水) 近文原野土地収奪事件
 - 第6回 3月20日(水) 満州国国立競馬場創設
- 第4回～第6回概要・申込は冬期総合案内に掲載します。



*3回分をインターネットで一括申込される場合の割引価格です。

06

『論語』を読もう

講師 加地 伸行 立命館大学 白川静記念東洋文字文化研究所研究顧問

受講料

1回 1,700円
 [割引] ネット一括申し込み*
 4,500円

生活において、その基本の中の基本は、国語です。その国語の基本は古典です。古典の中に、国語を作ってきたわれわれの心が秘められています。自分の心が、実は古典と裏表をなしています。その古典を読みましょう。読んでゆこうちに、自分の心が洗われてくることに驚くこととなります。古典の中の古典である論語を静かに読んでゆきましょう。

【講師略歴】 1936年大阪生まれ。1963年京都大学大学院文学研究科修了。文学博士。大阪大学名誉教授。専門は中国哲学史。著書に『中国論理学史研究』『中国人の論理学』『儒教とは何か』など。



使用テキスト

『論語 増補版』

加地 伸行著
 講談社学術文庫 1,652円(税込)
 ※講義ではレジュメ配布をいたしません。書店でテキストを購入の上ご参加下さい。

本講座は「おとなの学び舎 2018春・夏」の続編です。今回初めての方も申し込みできます。

実施時間 各回14:00～15:40 ※質疑応答あり

- 第7回 10月25日(木)
- 第8回 11月22日(木)
- 第9回 12月20日(木)

- 冬期
- 第10回 1月24日(木)
 - 第11回 2月28日(木)
 - 第12回 3月28日(木)
- 第10回～第12回概要・申込は冬期総合案内に掲載します。

07

2018年度
木津川計講座

都市の在り方—大阪の曲り角

講師 木津川 計 上方芸能評論家/立命館大学名誉教授

受講料

1回 1,800円
 [割引] ネット一括申し込み*
 4,500円

明治から数えて百五十年、^{とっかん} 呐喊の時代を走り抜けてきた。おおいなる変貌が見舞い、何れもの転換点や曲り角がこの都市の像を塗りかえ続けた。大阪だけではない。日本を大きく変えた事象もあった。得たもの、失ったもの、差し引いた総和がいまの大阪である。音楽家や作家、あらゆるクリエイターは批評を求め、評判を気にする。評価の無風地帯に置かれて人は精進し得ようか。検証されざる都市も同様だ。住む都市、働く都市の永遠を願わない人はいま。滅びざる巨大都市のために私たちの都市経営能力がためされている。理性を働かせ、知性に頼り、行動を促し、大阪の明日を輝かせたい。

【講師略歴】 1935年生まれ。大阪市立大学文学部卒。自ら創刊し、編集長を務めた雑誌『上方芸能』は、京阪神の芸能や大阪文化を広く紹介・論評する専門誌として48年の歴史を持つが、2016年6月、200号を機に終刊した。現在は、NHKラジオエッセイ(関西エリア)をレギュラーで毎週担当するほか、「木津川計の一人語り劇場」を主宰して新国劇や新派、歌舞伎の名作などを各地で口演している。著書に『人間と文化』(岩波書店)、『上方芸能と文化』(NHKライブラリー)他多数。全国日本学士会アカデミア賞、京都市芸術功労賞、菊池寛賞などを受賞。

実施時間 各回14:00～15:30

第4回
 10月26日(金)
 ゴースト事件と破滅への道

第5回
 12月21日(金)
 「ど根性」と「がめつい」の誕生

第6回
 2019年2月22日(金)
 70年日本万国博と深層海流

昭和八年六月十七日、天神橋筋六丁目交差点で信号を無視して渡る一兵士を交通巡査が派出所へ連行、殴り合いになった。事は拡大、師団長と警察部長の対決は、さらに陸軍省対内務省の対立になった。いうところの「ゴースト事件」は陸軍が勝ちを収めて以降、日中全面戦争へなだれ込む。日本の悲劇の幕開けでもあった。

『暖簾』と『花のれん』で売り出した山崎豊子の「ど根性」と、菊田一夫が大ヒットさせた「がめつい奴」で大阪は不名誉な代名詞をかぶせられた。大阪が高度成長期に浴びた文化的テロルであった。人びとは『王将』を歌い倒し、大阪が血祭りにされるのも気づかず、この国は高度成長を超過達成し、経済大国への道を爆進していった。

総入場者6421万8770人、まさしく「民族大移動」であった。万博は必ず開催都市名を頭にかぶせる。パリ博、ブリュッセル博…というように。ならばオオサカ博と呼ぶべきが、「日本万国博」になったのはなぜか。60年安保闘争の再来を70年に躲さんとする体制と総資本の巨大な深層海流がうねっていたのだ。

*3回分をインターネットで一括申込される場合の割引価格です。

日本の「道」と言っても東海道や北海道の話ではない。日本には、神道・仏道・修験道、政道、歌道、香道、武道(剣道・柔道・角道(相撲道)・合気道など)、書道、華道、茶道、芸道、画道など、「道」のつく言葉がたくさんある。荘子は「宇宙を支配する原理を『道』という」と言ったそうだが、「首」(人間)+「しんによう」(行く)からなる「道」の字は、「人が行きつ戻りつを繰り返しながら得た最高至善のもの」を意味するとも言われる。「道徳」は、利己的・本能的欲求と普遍的・社会的価値の対立の中で、「あるべき道」を指し示す規範だが、「武術」と「武道」の違いなどを考えるにつけ、日本のいろいろな「道」を「道徳」の視点から見ると面白いだらう。勝ちあいいってもんじゃない?

[講師略歴] 専門は、「放射線防護学」「平和学」。東京大学工学部原子力工学科卒(第1期生)、工学博士。立命館大学経済学部、国際関係学部教授を経て、2008年より立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長。2013年、日本平和学会第4回平和賞受賞。福島原発事故後は、毎月福島を訪れ、放射線量測定や食料汚染検査、相談活動など被災者に寄り添った活動を行っている。

実施時間 各回14:00~15:40 ※質疑応答あり

本講座は「おとなの学び舎2018春」の続編です。今回初めての方も申し込みできます。



第4回

11月13日(火)
伝統芸術としての書道
ーコンピュータ時代の書の意味

「書は人格」とも言われる。意味を伝達するという文字の機能なら、電子技術の方が総じて達者だ。しかし、漢字かな混じり文の日本語の場合、筆字には独特の風合いがあり魅力がある。日本で書道が発展を遂げた背景には、一体どのような要因があったのだろうか?

第5回

2019年1月8日(火)
巨大習いごと体系をもつ華道
ー「きまりごと」と「きままごと」のあいだ

生け花に取り組む姪が「華督」になったということだったが、なかなか大変な職位のようだ。発表会の多様な作品には、それぞれの流派の基本的な「きまりごと」と、個々人の感性や技量による「きままごと」があるのだろうか、「きまり」と「自由」の関係やいかに?

第6回

2019年3月12日(火)
茶点ととふるまいの様式と芸道としての茶道
ー堅苦しさとリラクゼーション

茶は日常におなじみだが、「茶道」となると「敷居が高い」と感じる人は多い。最近「リラクゼーション茶道」などもあるが、そもそもこのような特異な体系は歴史にどう現れ、体系化され、人々の生の営みにどのような意味や方向性を指し示しているのだろうか?

ご友人紹介キャンペーン

「ご友人紹介キャンペーン」とは、ご紹介者のご家族・ご友人を立命館アカデミックセンターが開催する「おとなの学び舎」に1回無料でご招待する制度です。



対象

- ご紹介者
立命館大阪梅田キャンパスで受講歴がある方
- ご紹介を受けた方
立命館大阪梅田キャンパスで受講歴がない方

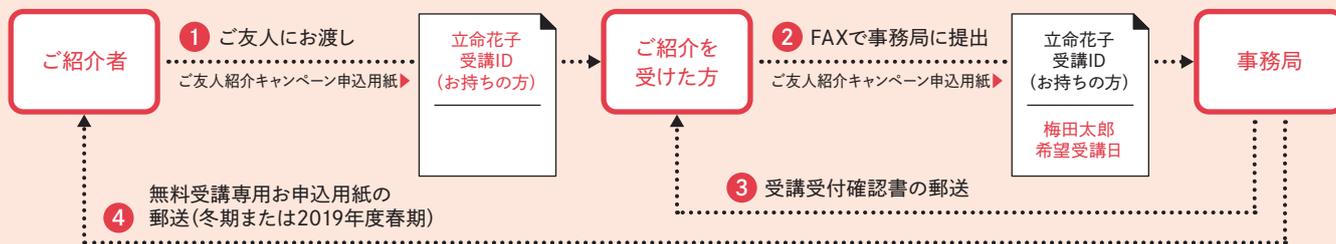
特典

- ご紹介者
冬期もしくは2019年度春期開講講座から1回無料で受講いただけます。
- ご紹介を受けた方
秋期開講講座に1回無料でご招待いたします。

ご紹介方法

- ご紹介者
「ご友人紹介キャンペーン申込用紙」(別紙)に氏名・受講者ID(お持ちの方)をご記入の上、ご友人にお渡してください。
※ご紹介者様の氏名が記入されていない場合は無効となります。
- ご紹介を受けた方が受講された後、ご紹介者様には冬期もしくは2019年度春期講座の募集案内とともに無料受講専用のお申込用紙を送付します。専用のお申込用紙に掲載された講座から1つお選びいただき、FAXにてお申込みください。
※ご友人紹介は1期で2名までとします。ただし、無料で受講できる講座はお1名様1回のみです。

- ご紹介を受けた方
「ご友人紹介キャンペーン申込用紙」(別紙)に必要事項をご記入の上、「ご友人紹介キャンペーン申込用紙」(別紙)に掲載された講座からご希望の受講日を第2希望まで記入いただき、FAXにてお申込みください。どちらか無料で受講いただけます。



09

2018年度
大阪・京都
文化講座(秋期)

アジアから関西へ/関西からアジアへ

共催：大阪大学大学院文学研究科・大阪大学共創機構社会学共創本部21世紀懐徳堂・立命館大学文学部

コーディネーター 金水 敏 大阪大学大学院 文学研究科教授 / 上野 隆三 立命館大学 文学部教授

受講料

1回 1,700円

[割引] ネット一括申し込み*

12,000円

日本の歴史を振り返るとき、アジアと日本の政治・軍事・宗教・文化等の動向が切っても切り離せない影響関係にあることが思い起こされます。例えば稲作の流入、古代国家形成と中国・朝鮮半島の関係、仏教の受容、遣隋使・遣唐使、宋・明貿易、元寇、朝鮮使節、日清・日露戦争、韓国併合、強制移民等々、トピックには枚挙にいとまがありません。本講座では、特に関西と関わりの深い8つのテーマを取り上げて掘り下げていきます。そこには、今まで充分知られてこなかったアジアと関西の深い関係が浮かび上がるとともに、関西が常に日本とアジアとをつなぐハブの役割をしていたことが改めて明らかになるでしょう。



実施時間 各回14:00～15:40 ※質疑応答あり

第1回

10月15日(月)

木簡から探る日朝文化交流

講師 市 大樹 大阪大学大学院 文学研究科准教授

当時は「ゴミ」として捨てられたはずの木片が、1000年以上の時を経て地中から掘り出され、当時の日常をよく伝える「宝物」として脚光を浴びています。この講演では、そうした木簡を読み解きながら、日朝文化交流の一面を浮かび上がらせてみたいと思います。

第2回

10月22日(月)

戦前京都の朝鮮人留学生

講師 水野 直樹 立命館大学 文学部客員教授

戦前の京都に学んだ朝鮮人留学生としては、詩人尹東柱がよく知られています。その詩集の日本語訳は何種類も出ていますが、尹東柱以外にも多くの朝鮮人が京都の大学や高等学校に学びました。彼ら/彼女らが京都で何を学び、どのようなことを感じたのか、卒業後はどのような生涯を送ったのか、などを考えます。

第3回

10月29日(月)

アジアのなかの近代関西大衆音楽

ジャジャンボ、ドドンパ、雨の御堂筋

講師 輪島 裕介 大阪大学大学院 文学研究科准教授

近代日本の大衆音楽の歴史は、専ら、欧米からの影響と、東京中心のメディアや産業の編成を通じて考えられてきました。それに対して本講座では、アジア・太平洋圏の文化的交流と、その一環としての関西という場所に注目して、音楽史の見直しを試みます。

第4回

11月5日(月)

海を渡った立命館野球—台湾・上海、そしてアメリカへ—

講師 河原 典史 立命館大学 文学部教授

1923年に結成された立命館大学野球部は、1927年に初の海外遠征を行ないました。遠征先の台湾は、館長・中川小十郎が1925年まで台湾銀行頭取だった歴任地でした。野球部は、その後も1932年に上海へ遠征しました。早稲田大学や慶応大学の野球部が、野球技術を学ぶためにハワイやアメリカ本土へ遠征したのとは異なり、立命館では植民地の学生や野球部との交流が多かったのです。

第5回

11月12日(月)

アジアから見た信長と天下統一

講師 桃木 至朗 大阪大学大学院 文学研究科教授

信長に始まる天下統一はなぜできたのでしょうか。それは日本社会をどう変えたのでしょうか。国内の「国盗り合戦」でなく16～17世紀アジアと世界のダイナミックな動きの中で考えてみませんか。そのカギは堺にあります。

第6回

11月19日(月)

江戸時代、京の僧侶と中国白話小説

講師 上野 隆三 立命館大学 文学部教授

江戸時代。中国の小説『三国志演義』を翻訳した『通俗三国志』が人気を博します。訳者の湖南文山は、京都・天龍寺の僧であったと言われています。天龍寺と言えば京都五山。漢文学に通じた天龍寺の僧侶にとつての中国白話小説、『三国志演義』とはどういうものであったか、考えてみたいと思います。

第7回

11月26日(月)

劇団維新派のアジア

—『台湾の、灰色の牛が背のびをしたとき』を中心に—

講師 永田 靖 大阪大学大学院 文学研究科教授

劇団維新派は演出家故松本雄吉が主宰した、大阪を本拠にする現代前衛劇団でした。その作品ではしばしば大阪とアジアの関係を描いており、とりわけ戦前のアジア諸国への移民を扱った『台湾の、灰色の牛が背のびをしたとき』(2010)は、大阪とアジアの近代と未来を指し示しています。ここではこの作品を中心に考察します。

第8回

12月3日(月)

大阪・京都の華僑華人

—内なる多文化への視座—

講師 駒見 一善 立命館大学 国際教育推進機構准教授

「南京町」という元町の繁華街に中華街を持つ神戸の華僑華人は有名ですが、大阪・京都にも多くの華僑華人が居住し、華僑学校や華僑団体組織が存在します。本講義は、大阪・京都に暮らす華僑・華人の歴史、社会背景、拡大した新華僑の人々の動向から、隣人としての華僑華人との共生について考察します。

*8回分をインターネットで一括申込される場合の割引価格です。



インターネットでのお申込み

立命館アカデミックセンター
ホームページで受付



▶ <http://www.ritsumeikan.ac.jp/acr/>



- ①立命館アカデミックセンターホームページからお申込み下さい。
※お申込み後、自動返信メールが届きます。3営業日を過ぎて自動返信メールが到着しない場合は、裏面お問い合わせ先にご連絡下さい。
※以下の端末からはお申込みできません。docomo(iモード)、au(Ezweb)、SoftBank(3Gケータイ)、Internet Explorer 7以前のブラウザなど。
- ②[1次募集]お申込み多数の場合は抽選を行います。
抽選結果はお申込みの方全員に9月下旬にメールにてお知らせいたします。
[2次募集]定員に達していない場合のみ先着順で受付いたします。
- ③お支払はクレジットカード払いのみとなります。
※JCB・VISA・Master Card・American Expressをご使用いただけます。

FAX・郵送でのお申込み

- ①「受講申込書(裏面申込書)」に必要事項を記入のうえ、FAXでお送りいただくか、ご郵送下さい。※9月10日(月)必着
※お電話・メールでのお申込みはできません。
- ②[1次募集]お申込み多数の場合は抽選を行います。
抽選結果はお申込みの方全員に9月下旬に郵送にてお知らせいたします。
[2次募集]定員に達していない場合のみ先着順で受付いたします。
- ③ご当選の方には「受講受付確認書」「郵便払込票」をお送りいたしますので、受講料を納入(郵便払込)願います。
※事務局窓口にて現金で納入することはできません。
※払込手数料は申込者のご負担をお願いいたします。
※事務局より受講料納入確認の通知は行いません。

FAX
送信先



06-6360-4894

郵便
送付先

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4
大阪富国生命ビル14階

立命館アカデミックセンター事務局

受講の際の配慮を希望する方へ

お体の具合等で受講の際の配慮を希望される場合は、お申込みの際に事務局へお申し出ください。
申し出の内容に関わる情報については、立命館アカデミックセンター事務局および関連部署間で共有します。事前相談も受付しています。
※なお、いただきましたお申し出すべてにお応えできるものではありません。あらかじめご了承ください。

お申込みにあたっての注意事項

- ◎申込み後のキャンセル、払い戻しはお受けできません。
- ◎代理受講は認めておりません。また欠席講義の他講座への振替はできません。
- ◎欠席や遅刻に対する返金は一切お受けできません。
- ◎自然災害や交通機関のトラブルなど不可抗力の事情や講師の病気により、休講や開講日を変更することがあります。
事前に休講もしくは開講日の変更が判明した場合は、お知らせいたします。その場合の受講料の払い戻し、旅費や宿泊費のキャンセル費用などについては補償できかねます。但し、上記以外の立命館アカデミックセンターの責に帰すべき事由により不開講となった場合は、受講料を返金します。
- ◎本講座を修了しても、立命館大学並びに大学院の単位認定、また文部科学省並びに他の公式機関が認定する単位及び学位の授与は行われません。
- ◎講義の録音・録画・画像のコピー、教材の無断複写および配布はお断りいたします。
- ◎立命館アカデミックセンターでは、「個人情報の保護に関する法律」および「学校法人立命館個人情報保護規程(※)」を遵守し、立命館アカデミックセンターが収集する個人情報は、講座運営や講座分析に関わる業務のみに使用します。また収集する個人情報は、本法律、本規程に則り、漏洩・滅失・毀損等がないように安全に管理します。
※こちらでご確認いただくことができます。
http://www.ritsumeikan-trust.jp/info/privacypolicy/g01_j/
- ◎立命館アカデミックセンターは、本法律・本規程に定める場合を除き、個人情報を予め本人の同意を得ることなく第三者に提供することはありません。
- ◎立命館アカデミックセンターは、個人情報の取り扱いを含む業務の一部を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、次の事業者に委託しています。

委託先

株式会社クレオテック(学校法人立命館100%出資会社)

立命館アカデミックセンター 受講申込書

申込受付期間 1次募集:9月3日(月)10:00~9月10日(月) お申込み多数の場合は抽選となります
2次募集:定員に達していない場合のみ受講日の2日前まで受付けます

定員各回 100名

フリガナ		受講者ID(お持ちの方)		
氏名		0		
ご住所 〒		性別	男 ・ 女	年齢
		歳		
		生年月日(西暦)		
		年	月	日
TEL(自宅)	FAX			
TEL(携帯)	E-mail			

▼希望する受講日該当欄に印をつけて下さい。※FAXでお申込みの際はこの面を送信してください。 ☎06-6360-4894

講座名	1回受講料	受講日				
01 戦跡の戦後史 ▶P1	1,700円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第1回 10月3日(水)	<input type="checkbox"/> 第2回 11月7日(水)	<input type="checkbox"/> 第3回 12月5日(水)	
02 一気通貫! ▶P1 日本史講座	1,700円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第5回 10月5日(金)	<input type="checkbox"/> 第6回 11月2日(金)	<input type="checkbox"/> 第7回 12月7日(金)	
03 ムスリムの食文化 ▶P2	1,700円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第1回 10月11日(木)	<input type="checkbox"/> 第2回 11月8日(木)	<input type="checkbox"/> 第3回 12月13日(木)	
04 浮世絵から ▶P2 読み解く「忠臣蔵」	1,700円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第1回 10月12日(金)	<input type="checkbox"/> 第2回 11月30日(金)	<input type="checkbox"/> 第3回 12月14日(金)	
05 現代日本の抱える ▶P2 「闇」を解き明かす	1,700円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第1回 10月17日(水)	<input type="checkbox"/> 第2回 11月21日(水)	<input type="checkbox"/> 第3回 12月19日(水)	
06 『論語』を読もう ▶P3	1,700円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第7回 10月25日(木)	<input type="checkbox"/> 第8回 11月22日(木)	<input type="checkbox"/> 第9回 12月20日(木)	
07 一木津川計講座— ▶P3 都市の在り方	1,800円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第4回 10月26日(金)	<input type="checkbox"/> 第5回 12月21日(金)	<input type="checkbox"/> 第6回 2019年2月22日(金)	
08 一安斎育郎講座— ▶P4 日本の「道」(どう)を考える	1,800円	<input type="checkbox"/> 全3回一括	<input type="checkbox"/> 第4回 11月13日(火)	<input type="checkbox"/> 第5回 2019年1月8日(火)	<input type="checkbox"/> 第6回 2019年3月12日(火)	
09 一大阪・京都 文化講座(秋期)— ▶P5 アジアから関西へ/ 関西からアジアへ	1,700円	<input type="checkbox"/> 全8回一括	<input type="checkbox"/> 第1回 10月15日(月)	<input type="checkbox"/> 第2回 10月22日(月)	<input type="checkbox"/> 第3回 10月29日(月)	<input type="checkbox"/> 第4回 11月5日(月)
			<input type="checkbox"/> 第5回 11月12日(月)	<input type="checkbox"/> 第6回 11月19日(月)	<input type="checkbox"/> 第7回 11月26日(月)	<input type="checkbox"/> 第8回 12月3日(月)

▶単回での申込みはこちら

切り取り線

会場

立命館大阪梅田キャンパス (大阪富国生命ビル5階)

〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4

アクセス 地下鉄谷町線 東梅田駅 徒歩1分 / 地下鉄御堂筋線 梅田駅 徒歩3分
阪神 梅田駅 徒歩3分 / JR 大阪駅 徒歩5分 / 阪急 梅田駅 徒歩5分

【お問合せ・お申込み先】

立命館アカデミックセンター事務局(大阪富国生命ビル14階)

http://www.ritsumeai.ac.jp/acr/

TEL:06-6360-4804 (窓口時間/月~金10:00~17:00)

FAX:06-6360-4894 E-mail:acr02@st.ritsumeai.ac.jp

※お電話・メールでのお申込みはできません。

